

第6回リカジョ育成賞 -奨励賞-

テーマ	主体性を生かした「桜蔭理工系女子育成プログラム」による科学系人材の育成
受賞者名	鹿児島県立国分高等学校 SSH 推進部

活動紹介	本校では科学系人材育成プログラムの一つとして「桜蔭理工系女子育成プログラム」を実施している。女子を基本的に対象としたものであり、理工系に関するプログラムを幅広く展開している。「桜蔭」とは本校同窓会「桜蔭会」からきており、地域へ貢献することはもとより、霧島から世界へ羽ばたく人材へと成長する願いが込められている。 プログラムの対象は文系の生徒も含めた全女子生徒であり、場合によっては男子生徒の参加も認めている。内容としては主体的な協働的課題研究を軸としながら、女性科学技術者による講演会の実施、自ら赴いて地域の有識者・専門家などと連携して取り組む課題研究の高度化、積極的な外部の大会やシンポジウムへの参加でスキルを磨くことなど、多岐にわたる。 本プログラムは、理工系に関心を持つ女子生徒が、自らの意志でよりスキルを磨くための機会を幅広く提供するものであり、在学3年間を通して系統立てたものとなっている。本校のプログラムの特徴として、学校側で準備した機会の提供に止まらず、生徒自らの手で連携先を開拓することにあり、その連携先は地域に限らず世界に及ぶ。また、生徒たちが求める方向性によって連携のあり方も様々であり、それがプログラムの広がりを見せている。 現在、既存のプログラムを再構成した学校設定科目化の検討を始めており、有為な理工系女子の人材が地域から世界へ羽ばたく大きなステップとなるよう努力している。
PRメッセージ	課題研究の成果の一つとして、地域の大会・コンテストから ISEF 等の世界大会まで、数々の成果をあげてきました。これまでご協力くださったすべての関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも新たな連携機会の拡大を図りながら努力を継続したいと考えています。

